

一部変換ミスが発生したことをお詫びします。訂正の上、再度、お送りします。
お盆の帰省、バカンスのシーズンも終わりましたが、残暑がとても
厳しい日々が続きますが、皆様いかがお過ごしですか。

このたび日本文化体験交流塾は、NPO法人となり、理事の選出など体
制強化に努めるとともに、秋には、3分野12講座を開設しました。今回
は、募集開始の4講座をご紹介します。

1.江戸・東京文化講座 江戸以来の文化・技術・人の継承と発
展をたどります

●「浮世絵を生んだ技術の探訪(各回ごと募集、3200円)」

○9月1日(月)10～12時 「和本入門」橋口こう之介(誠心堂書店
主)

○9月10日(水)10～12時 「浮世絵の彫りと摺り」(実演)上田真吾
(富士木版工房)

2.国際文化講座 国際比較のなかで、日本文化の本質・魅
力に迫ります

○9月13日(土)14時～16時 「スイス・ツェルマットに学ぶホスピ
タリティ」～プロフェッショナル・ガイドへの助言～山田 桂一郎氏
(観光カリスマ) (3000円)

3.地域探訪シリーズ 東京の各地域に点在する日本文化を探り
、体験します。

○9月20日(土)13時～16時30分「能楽入門講座と粋なまち神楽坂探訪
」(3600円)

・13～14時 少人数でのまち歩き(牛込城跡に立つ光照寺、牛込中央
通りなど)

・14～15時 佐久間二郎能楽師による講座と実演、(矢来能楽堂)

・15～16時30分 プロのガイド坂本二郎氏らとまち歩き

4.総会・理事会報告

=====

(内容)

1.江戸・東京文化講座

1「浮世絵を生んだ技術の探訪」(募集方法の変更)

これまで、全体像を理解していただきたく全コース一括申込として
いましたが、募集人員にいたらなかったため、各回ごとの募集とい
たします。

◆時間 各10時～12時

◆講義料 各回 3,200 円

◆会場 小津本館ビル

◆時間 各 10 時～12 時

○9月1日(月) 「和本入門」 橋口こう之介(誠心堂書店主)
江戸時代、日本の識字率は世界一とされています。それを可能にしたのは和本の大量発行であり、木版印刷の技術です。浮世絵を生んだ和紙、版木、摺りといった技術は、和本制作のなかで培われたものでした。

○9月10日(水)「浮世絵の彫りと摺り」(実演) 上田真吾(富士木版工房)
浮世絵の素晴らしさは、その多色刷りです。同じ時代のヨーロッパの多色刷りとは、雲泥の差があります。現代では、数少ない摺り師である上田氏が実演を交えて、彫りと摺りの技術を解説します。
詳しくは、http://www.ijcee.com/koza_edo_index.htmlをごらんください。

○9月29日(月)「和紙・紙漉き」 小津スタッフ

○10月6日(月) 「絵師・葛飾北斎」 小山周子(江戸・東京博物館学芸員)

○10月28日(火) 「絵の具」 杉田桂子(「金界堂」店主)

2.国際文化講座

○観光カリスマ 山田 桂一郎氏のお話し(国際文化講座) 募集中
「スイス・ツェルマツトに学ぶホスピタリティ」～プロフェッショナル・ガイドへの助言～

◆日時 9月13日(土)14時～16時

◆会場 ちよだプラットフォーム・クウエア 504・505(千代田区神田錦町3-21)

<http://yamori.jp/modules/tinyd2/index.php?id=10>

◆受講料 3,000 円

◆申し込み方法 日本文化体験交流塾ホームページ(<http://www.ijcee.com/>) から

定員 60 名先着順 申込締め切り 9月8日(月)

詳細は、http://www.ijcee.com/koza_koku_index.html#yamadaをご覧ください

3.地域探訪シリーズその3

○「能楽入門講座と粋なまち神楽坂探訪」

神楽坂は、能楽堂や料亭が点在するまち。歌舞伎役者や能楽師、芸術家、芸者など粋人達が愛した着物・小物、茶道具の専門店等知られざる店などもあります。遊び心に満ちた「粋な街」を東京商工

会議所の認定の地域ガイドの案内で歩きます。

◆日 時 2008年9月20日(土) 13時～16時30分

◆受講料 3,600円

◆内容とスケジュール

・13時 神楽坂通りの毘沙門天善国寺に集合(12時30分から受付開始)

少人数でのまち歩き(牛込城跡に立つ光照寺、牛込中央通りなど)

・14時～15時 能楽入門講座(矢来能楽堂)

佐久間二郎能楽師による講座と実演、能楽堂の視察

「能とは何か」「能の構造～能舞台と役職～」「能面と能装束」

「謡曲の謡い方」など

・15時～16時30分 まち歩き

赤城神社、軽子坂、かくれんぼ横丁、芸者新道などを歩いて、毘沙門天に戻ります。

◆能楽師 佐久間 二郎氏の紹介

1972年生まれ。観世喜之師（現矢来能楽堂当主・重要無形文化財総合指定保持者）のもとで内弟子修業後、平成10年観世流シテ方能楽師として独立。現在、矢来能楽堂を中心に全国各地での能公演に出演するほか、東京・鎌倉・横須賀・山梨市・甲府市に「謡曲・仕舞」の稽古場を持つ。平成17年4月、甲府「武田神社」にて、「薪能」を開催、1千人の観客を動員。

◆ガイド・坂本二郎氏の紹介

神楽坂のガイドのリーダー。神楽坂通りのガラス店の三代目の店主で、1級建築士でもある。長く神楽坂のまちづくりやイベントのリーダーを務め、都内でも珍しい有料のガイド制度を創設した。プロのガイドだけに、紹介内容の充実に努め、ホスピタリティを發揮している。今回のウォーキング・ツアーでは、ルート検討、他のガイドへのアドバイス等の全体の調整を行っている。

詳細は、http://www.ijcee.com/chiiki_080920_index.html

4.総会・理事会情報

NPO法人日本文化体験交流塾は、8月8日、第1回総会を開催しました。以下の者が理事となりました。よろしく、お願いします。

理事長 米原亮三(元東京都参事)、鈴木勝(副理事長・新内演奏家)、海口晴彦(NPO隅田川・江戸文化振興会理事)、菊地くに子(プログラム・コーディネータ)、坂本隆(通訳案内士)、宍戸俊信(三味線、合気道)、高松巖(元東京都観光部長、ジャズ)、平井佐知(エディター・翻訳)、安田彰(元JNTO理事・書道)、村山慶輔(ポータルジャパン社長)、米原大介(ウェブ担当)